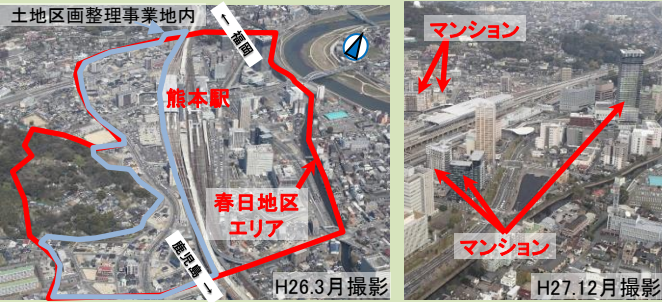


熊本駅周辺の整備効果

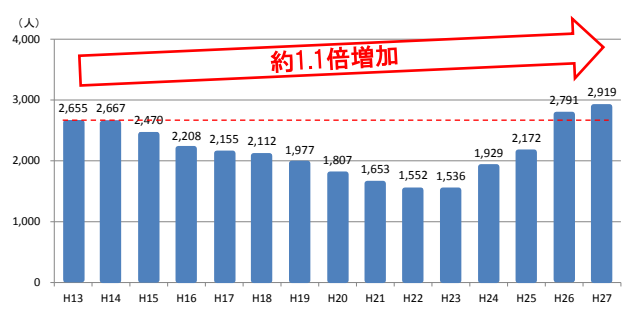
◇居住地・従業地の魅力向上

熊本駅周辺地域においては、民間マンション等が立地することで夜間人口が約1.1倍増加(H13比)しており、さらに専門学校等や合同庁舎が立地することで昼間人口が約4,000人増加しています。

夜間人口の増加



夜間人口(春日地区)の変化



(出典:住民基本台帳人口)

昼間人口の増加



通学者 専門学校等(4校)
⇒1,800人

勤務者 熊本合同庁舎(A棟・B棟)
⇒2,200人

約4,000人増

更に くまもと森都心プラザの来館者数
⇒約100万人/年(H27年度)

※当初想定50万人/年

(県聞き取り調査結果)

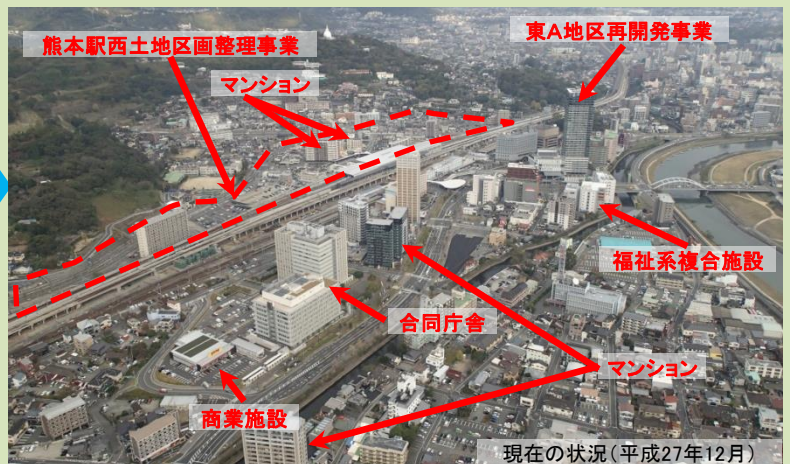
◇周辺開発の誘発

熊本駅周辺地域においては、九州新幹線の開業や鉄道の高架化にあわせて、土地区画整理事業や市街地再開発事業、街路事業等の基盤整備を一体的に実施することにより、民間のマンション建設等が活発になっています。

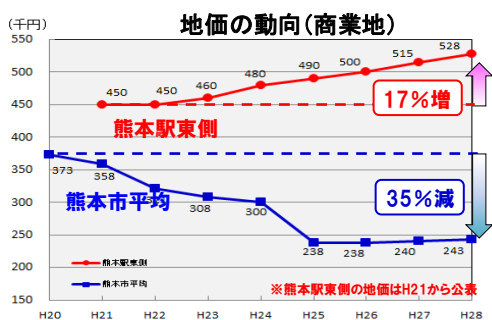
周辺開発の誘発



周辺開発
の誘発



事業の進捗に伴い、周辺の地価が上昇



※熊本駅東側の地価はH21から公表



▲合同庁舎



▲東A地区再開発事業